

県会議員 奥村のり子の  
読者ニュース

2017年12月24日 第294号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



新基地建設反対こそ沖縄の民意  
一般質問で県知事の見解を質す

沖縄の問題についてお尋ねいたします。ご存知のように、沖縄は日本で地上戦が展開された地であり、軍人、軍属だけでなく、一般県民も巻きこまれ、沖縄戦の犠牲者で最も多いのは沖縄県民ですが、和歌山県出身将兵の大半が、沖縄最後の抵抗線であった糸満市米須で戦死したといわれています。先日の戦没者追悼式で沖縄に行ったとき短い時間でしたが、普天間基地が俯瞰できる嘉数高台公園の展望台にも行き、あいにく曇り空で轟音だけが響き渡っている中で、突然オスプレイが姿を現し



手に持っているのが沖縄県発行の米軍基地問題のパンフレットです。「のり子の週刊日誌」は休みます。

紀陽銀行、カードローン貸付増  
関西ではトップ、高金利は魅力？

今年9月の当欄で「銀行カードローンに批判」「高金利で自己破産が続出」と伝えました。12月17日の産経新聞は「過剰貸し付けが問題化している銀行のカードローンについて、関西を地盤とする池田泉州銀行、滋賀銀行、紀陽銀行、みなど銀行、南都銀行の5行で、今年9月末の貸付残高が1年前と比べ計68億円増えたことが分かった」と報道。5行の残高推移一覧表によると、和歌山が地盤の紀陽銀行は伸び率3位で1年前より13.8%増の181億円ですがこの残高は1位です。

日銀が公表した9月末の銀行カードローン残高は5兆7717億円で前年比7.2%増。契約はネットやフックス、電話でも可能で専用カードでATMでも借りれるため多重債務、過剰な貸し付けなどで16年の自己破産は全国で約6万4600件と報じています。自主規制などで残高を減らす努力はしているが、10%超の利率は銀行にとって魅力的で簡単には手を引かず多重債務者の増加が心配です。

そんな中、「しんぶん赤旗」が2010年に「借金して馬券購入」と批判した、中央競馬会や地方競馬場でのATMは年度内に廃止される旨、共産党の紙智子参院議員の質問で農水相が答弁しました。カジノ解禁をめぐる共産党の国会論戦などでギャンブル依存症問題への社会的関心を高まってきたことが背景にあると思われる。(編集室)

機体の腹部がはつきりと確認できるほどでした。わずか30分の間に、戦闘機やヘリコプターなどが現れ、住民の頭上を行き交う様をみて、世界一危険な普天間基地を実感しました。

これまでの米軍基地に起因する事件事故が多く、つい4日前にも、保育園に米軍ヘリの部品が落下するという背景がぞっとするような事故が起こりました。「土地を奪って、今日まで住民に大きな苦しみを与えておきながら、基地が老朽化したから、世界一危険だから、唯一の解決策だから沖縄が基地を負担しろ」というのは理不尽です」と紹介のパンフに書かれています。そして、県民の民意として「沖



私事ですが、先週あたりから急に歯が痛くなりました。昨日歯医者へ駆け込みました。「お久しぶりです」と、ほほ笑む歯科衛生士さん、先生からは「定期健診はきちんと来ていたください」と厳しいお言葉。歯と歯の間が虫歯になっていました。痛がりの私は、小さいこ

弱者に負担ばかりの政治を変えるために全力

沖縄は、辺野古への移設を反対しており、今後とも辺野古に新基地はつくらせないということを県政運営の柱にし、普天間飛行場の県外移設を求めるとあります。

そこで、知事にお尋ねいたします。沖縄のこういった現状をどのように感じておられますか。また、県民にありのままの沖縄を伝えるために、このパンフレットを活用してはどうかと思いますが、いかがでしょうか。お答えください。

【注】都合で今回は県議団HPにある議事録から掲載しました。続きはHPでどうぞ。

この質問後13日、普天間基地隣接の小学校に米軍ヘリの窓が落下し、体育の授業中だった児童一人がけがをしました。15日名護市で3千人が集まり抗議集会。

ろから歯医者がとても苦手です。苦手だからと言って放っておくと大変なことになってしまふのも何度も経験済み。その度に猛省する次第です。

そして、受診をするたびに思うことは、帰りに支払う受診料の高さです。「えー！こんなになんか？」と、財布からお札を出す手が震えます。若いうちは、病院にかかることは少ないですが、高齢になると受診する機会が増えるのは当たり前前。それなのに、政府は75歳以上の医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げようとしています。医療だけでなく、介護や福祉など社会保障の大改悪が、総選挙後急に打ち出されました。

党県常任委員  
坂口多美子



「弱いところにはばかり負担を押し付ける」この前、訪問先で聞かせていただいた障がい者の家族の言葉です。こんな政治を力をあわせて変えていきたいと思えます。

(写真は奥村県議と街頭宣伝する坂口多美子(右))